



新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。昨年8月に当病院開設者である父田上正昭が96歳で逝去しました。

長い間、患者様、医療関係者の皆様大変お世話になりました。さて当院は例年同様、感染対策に力を注ぎながら、基幹病院から多くの開心術後、慢性心不全、末梢動脈疾患などの患者様を多数受け入れさせて頂き、これまでに以上に臓リハビリに力を入れているところです。

それ以外にも施設などから肺炎や尿路感染症などの感染症の患者様の受け入れも行っています。学生の受け入れも、熊本大学医学部学生の臨床実習や、熊本保健科学大学や九州中央リハビリテーション学院から主に心臓リハビリに興味のある学生の実習を定期的に多く受け入れ、これまで同様、週1回の症例検討会、心疾患を基礎にした多彩な疾患、生活習慣病、心電図、感染対策などの勉強会を実施しています。

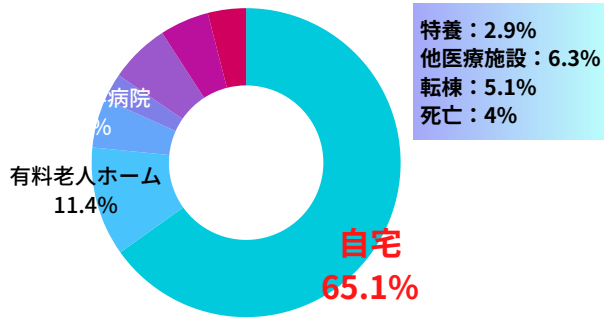
職種は医師、看護師、理学療法士はさることながら医事課、臨床検査技師、社会福祉士の多職種間で多方向から、患者様の病態はさることながら退院後の生活支援まで行っています。

昨年からは熊本県心臓リハビリテーション推進事業に参加協力し、熊本県の心臓リハビリの一翼を担える存在を目指して邁進していく次第です。本年も当院スタッフ一同、一丸となって地域医療に取り組み、患者様の期待に応えようと思っております。昨年は大谷翔平の活躍に励まされながら、今年はイスラエルやウクライナ等世界各地で紛争や戦争が収束することを願いつつ一歩一歩進んでいこうと思っております。今年もどうぞよろしくお願いたします。

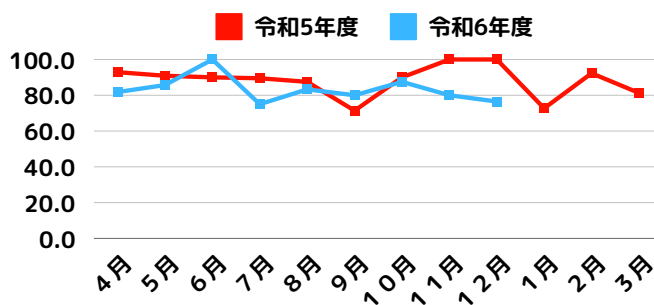
理事長：田上 貴一

令和6年 当院実績

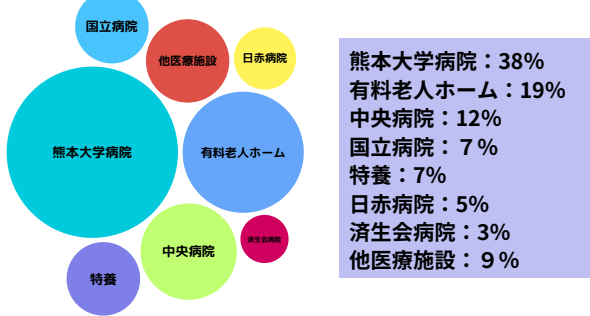
患者様退院先



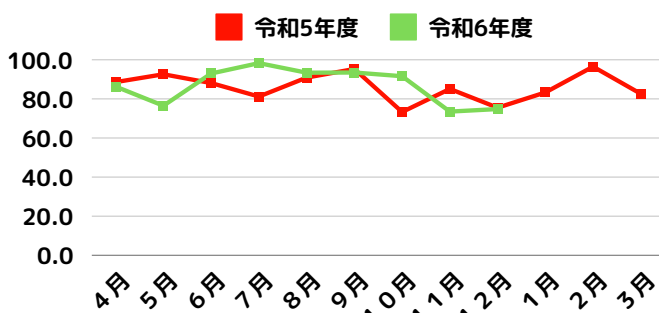
在宅復帰率：年度・単月毎の比較



患者様紹介元



病床稼働率：年度・単月毎の比較



集計期間：令和6年 4月～11月分

謹んで新春をお祝い申し上げます。

旧年も変わらぬご高配を賜り、心から厚く御礼申し上げます。

当院地域包括ケア病床における在宅復帰率並びに、患者様の動向等につきまして取り纏めを行っております。甚だ簡単な内容で大変恐縮ですが、お目通し頂けますと幸いです。

今年もご指導、ご鞭撻の程をお願い申し上げますと併に皆様方のご多幸を心より願い、年頭のご挨拶とさせていただきます。

検査科より

検査実施数 比較

	心エコー	エルゴメーター	ホルター心電図	CT検査
令和5年	652件	81件	58件	342件 ※4~12月
令和6年	687件	98件	30件	491件

明けましておめでとうございます。

昨年も多くの患者様に検査を受けていただきました。

心エコー、エルゴメーター、CT検査の実施件数は昨年より増加しました。

技師が医療人の一員として専門的な知識や技術を発揮し、診断の一助となるべく努めていきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

臨床検査技師：山下 美咲

リハビリテーション科より

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

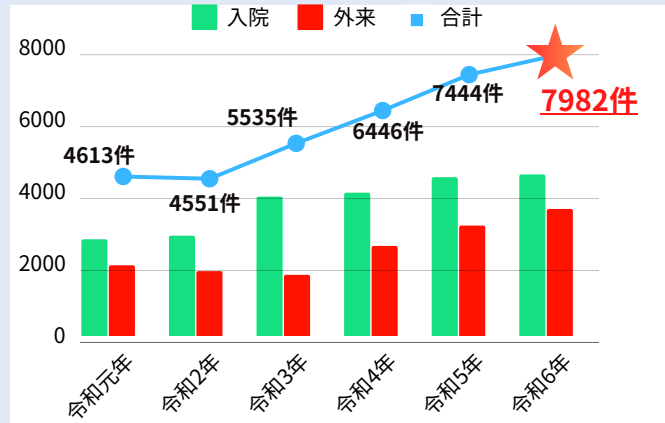
令和6年のリハビリテーション科の実績ですが、心リハ件数は入院・外来ともに件数増加、CPXは外来が件数増加いたしました。スタッフのスキルアップとして心電図検定1級に挑戦しました。

また熊本県心臓リハビリテーション推進事業に参加させていただいており、熊本県全域での心リハの普及に一助になればと考えています。

令和7年もより多くの患者様の力になれるように、尽力してまいります。引き続き本年もよろしくお願いたします。

理学療法士：那須 信久

心臓リハビリテーション実施件数



診療時間

- 月～金曜日/9:00 - 17:30 昼休み 12:00 - 12:30
- 土曜日 /9:00 - 12:00 土曜日の受付は12:00迄
※心療内科は田上理事長診察日(火・水・木)での対応
- 休診日/日曜日・祝日・土曜日午後
※急患はこの限りではありません。来院前にお電話ください。

病院情報

〒860-0842
熊本市中央区南千反畑町10-3
TEL:096-354-5885 FAX:096-354-5889
E-mail:info-tanoue@orion.ocn.ne.jp
HP:tanoue-heart-reha.com

QRコード



編集後記 日に新たに また日に新たに

凜とし旅立つ一朶(いちだ)の雲をめざし

皆様、明けましておめでとうございます。一昨年松澤准教授赴任以来熊本の心臓リハビリは全国に先駆けて急速に普及しています。当施設も心臓リハビリの件数は順調に増加しており、熊本の心臓リハビリ関連施設と協力して心臓病患者さんの健康増進に更に寄与できるようスタッフ一同する尽力する所存ですので宜しくお願致します。

Stand Alone (「坂の上の雲」主題歌)

ちいさな光が歩んだ道を照らす
希望のつぼみが遠くを見つめていた
迷い悩むほどに人は強さを掴むから夢をみる
凜として旅立つ一朶の雲を目指し

〔中略〕

わたしは信じる新たな時がめぐる
凜として旅立つ一朶の雲を目指し

右の歌詞は現在NHKで週1回スペシャル版として再放送されている「坂の上の雲」の主題歌で、天草市出身の放送作家小山 薫堂(こやま くんどう)さんの作詞、ジブリ音楽で有名な久石譲さんの作曲そしてオペラ歌手森麻季さんが切々とそして力強く歌い上げるすばらしい名曲です。

ご存じのように「坂の上の雲」は司馬遼太郎の長編小説で、日露戦争でロシアのバルチック艦隊撃破の名参謀秋山真之(さねゆき)、当時世界一と言われたコサック騎兵を破った兄秋山好古(よしふる)、そして日本の短歌に新風を吹き込んだ俳人正岡子規ら伊予松山で育った明治の若者たちが、当時の厳しい国際情勢の中で一朶(ひとかたまり)の雲を目指してたくましく生きていった青春群像を描いた物語です。歌詞のタイトル「Stand Alone」とは、19世紀の帝国主義時代にトルコより東で欧米列強の植民地にならずに独立を保った唯一の国明治日本を讃えたものと思われまます。

年の初めにあたり、歌詞のように高い目標を持って凜として歩みたいと思った次第です

本年も田上心臓リハビリテーション病院を何卒宜しくお願致します。

文責 大嶋 秀一